

2014.11.12

中野優希 スティールパン・リサイタル

《開催概要》

カリブ海のトリニダード・トバゴで発祥した「スティールパン」。大学入学と同時にスティールパンに出会い、そのキラキラした音色に魅了され、スティールパンが生まれた、トリニダード・トバゴ、アメリカに唯一スティールパン専門学科が設置されている、ノーザン・イリノイ大学にて、スティールパンの様々な奏法や演奏表現を学び、2014年に帰国、国内にておいて本格的な演奏活動を開始した、スティールパン奏者、中野優希が自身初となる「リサイタル」を開催します。

近年日本でも馴染みがある「スティールパン」。カリブ海ならではのカリプソ、ソカといったジャンルの音楽が有名ですが、今回は、スティールパンの綺麗な音色を活かしたクラシック作品や現代音楽等に挑戦する、これまでのスティールパンのイメージを一新したプログラムをお送りします。

プログラムは、スティールパンのために書かれた作品やバッハの「無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番」をスティールパン・ソロにて演奏する等、多くの方に親しみいただける内容となっております。タブラ奏者の指原一登、マリンバ・打楽器奏者の大場章裕、ドラム奏者の佐々木俊之、そして、チェロ奏者の山本渉とピアノ奏者の芹澤友里香を共演に迎えお送りするそれぞれの楽器とスティールパンのコラボレーションにも注目です。

中野優希がお届けする、スティールパンの新たな可能性を追求した演奏を、観て聴いてお楽しみいただけますと幸いです。

名 称	中野優希 スティールパン・リサイタル
日 時	2015年3月13日(金)19:00 開演 / 18:30 開場
会 場	東京オペラシティ リサイタルホール (東京都新宿区西新宿 3-20-2)
後 援	洗足学園音楽大学 ほか
制 作	株式会社 1002

本公演についてのお問い合わせ

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-3-7 日月館麹町ビル 3 階

株式会社 1002 [イチマルマルニ]

Tel. 03-3264-0244 / Fax. 03-3264-1788

公演担当= 佐々木麻衣 [ササキ マイ] sasaki@1002.co.jp

《公演概要》

プログラム

Kevin Bobo/Friday

Johann Sebastian Bach/Violin Partita No. 2 in D Minor, BWV 1004 IV. Gigue

Liam Teague/Impressions

Andy Akiho/Karakurenai

Liam Teague/A Visit to Hell

Robert Chappell/Sanchari

Khan Cordice/Four

Andy Akiho/AKA

出演者

中野優希 Yuki Nakano 【Steelpan】

お寺の娘として横浜に生まれる。音楽との出会いは、4歳の頃にはじめた木琴。その温かみのある木の音色に夢中になる。10歳の時に「ヨコハマ・マリンバ・レインボー・アンサンブル」としての活動でヨーロッパへの演奏旅行を経験。音楽への情熱がさらに大きく確かなものへと成長する。その後、中学、高校と吹奏楽で打楽器をはじめ、洗足学園音楽大学打楽器コースに入学。ドラム缶から生み出されたとは思えない、美しい音を奏でるスティールパンに興味を持ち、たちまち魅了される。在学中、スティールバンド「Pan Pop Paradise」の一員としてメジャーデビュー。2004、05年榎原敬之シンフォニー・オーケストラ・コンサート「cELEBRATION」に打楽器とコーラスの一員として出演。同時期に「Panorama Steel Orchestra」のリーダー・アレンジャー・プレーヤーである日本を代表するスティールパン奏者・原田芳宏氏と出会う。原田氏との交流を通じて、スティールパン発祥の地である、カリブ海最南端の島国トリニダード・トバゴの魅力を知る。

卒業後すぐに本場のグループを求め、トリニダード・トバゴへ旅立つ。首都ポート・オブ・スペインで毎年開催される世界三大カーニバル、「トリニダード・カーニバル」内のイベントの一つであるスティールパンの祭典「Panorama Competition」に100人編成のバンド「Silver Stars」のメンバーとして参加し、09年、10年に優勝した。11年アメリカで唯一、スティールパンの専門学科がある、NIU - Northern Illinois University (ノーザン・イリノイ大学)の教授、リアム・ティーグ氏に出会い、2年間NIUに在学。「NIU Steelband」に参加。演奏表現を豊かにすることはもちろん、スティールパンのダイナミクスや全体のバランス等、さまざまな視点から演奏に向き合う経験を積み、現在に至る。

きらめく太陽の光が降りそそぎ、ゆったりとした時間が流れるカリブ海最南端の島国。その地で育まれた胸躍るスティールパンの響き。この素晴らしい楽器の可能性に光を当て、そして、たくさんの人に音楽の楽しさを知ってもらうために演奏活動を行っている。全身で音を奏で、音を楽しむ伸びやかな演奏スタイルが持ち味。“NAKAPO”の愛称で親しまれている。

打楽器アンサンブルグループ「パルフェ」、スティールバンド「Panorama Steel Orchestra」、「Pan Pop Paradise」各メンバー。クラシック、ジャズ、ポップス、アフリカン、ラテン等、ジャンルを問わず幅広く活動中。またスティールパン講師として、後進への指導も積極的に行っている。

共演：指原一登 (Tabla)、大場章裕 (Marimba)、佐々木俊之 (Drums)、山本 渉 (Cello)、
芹澤友里香 (Piano)

スティーロパン Steelpan

トリニダード・トバゴ共和国は、ジャマイカやキューバ等の島国が連なるカリブ海にあります。スティーロパンは、そんなカリブ海の最南端の島国で1930年代後半に誕生しました。ドラム缶の底をハンマーで叩き、中華鍋のように凹ませた断面に音階を作った楽器で、トリニダード・トバゴでは100人以上のメンバーで構成されるスティーロバンドが多数あります。毎年2月頃に、現地のバンドが競い合う『パノラマ』と呼ばれる大規模なコンテストが開催され、演奏者はもちろんのこと、観客も彼らの織りなす迫力ある音楽の渦にのまれ、何とも言えない感動を得ることができます。

スティーロパンが生まれた当初は、男性のみが演奏することを許された楽器でした。彼らにとってスティーロパンと音楽は生きがいであり、その有り余る情熱によってバンド同士の殴り合いの喧嘩も絶えなかったと言われています。その後、時代の変化と共に女性にもスティーロパンを演奏することが認められるようになり、現在のように老若男女が楽しむことのできる国民的な楽器となりました。現在では、現地の代表的な音楽であるカリブソヤソカの楽曲にもスティーロパンの音色は欠かせません。

そしてスティーロパンは小さな島国を飛び出し、世界中の作曲家によってコンテンポラリーミュージック等にも使われるようになっていきました。

料 金

前売¥3,500／当日¥4,000(全席自由)

前 売 開 始

2014年11月28日(金) 10:00

プレイガイド

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 (10:00～18:00／月曜定休)

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/> [Pコード:248-593]

株式会社 1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 (10:00～18:00／土曜・日曜・祝日休み)

お 問 い 合 せ

株式会社 1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>

※都合により、出演者・プログラム・曲順が変更になる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。